

第 32 回 日本受精着床学会総会・学術講演会が 2014 年 7 月 31 日(木)、及び 8 月 1(金)に東京で開催されました。当院からは院長、培養士 3 名、看護師 2 名が参加し、培養士 1 名が発表を行ないました。

○ 金森真希

『maturation trigger としてのアゴニスト投与により卵子が得られず、同日 hCG 投与後、再度採卵し卵子が得られた 2 症例』

関西とはまた違った暑さの中、東京で開催された今学会でも、様々な内容について発表が行なわれていました。

特に注目したのは、当院でも導入が開始されている[タイムラプス](#)についてです。[タイムラプスモニタリングシステム](#)は受精胚の成長を動画として観察できるので、従来の観察方法ではわからなかったことでも新たに分かった事がたくさんあり、そこに焦点をあてた内容の発表が多く見られ、参加者の注目度も高かったです。

当院でも患者さまに還元できますように、運用を始めています。